

憲法連続講座 第28回

渡辺治著「戦後史のなかの安倍改憲」を読む

どなたでも自由に参加いただけます。

この著書では、国民がこれまでの様々な改憲の動きを跳ね返してきたこと、解釈改憲に対しても制約をかけ続けてきたことが語られています。また、憲法の強靱な生命力を支え、いまでも育んでいるのは国民の運動であること、改憲を阻んできた戦後史をふり返り、暴走を阻む力と私たちの行うべきポイントを渡辺治氏が語っています。

今回の渡辺氏の著作は書き下ろしで、戦後史の中で安倍改憲を読み解き、安倍改憲の狙いとそれを阻む力、憲法の生きる日本への道がよく整理されて、非常に読みやすくなっています。ぜひ読んでご参加ください。

今回の憲法連続講座は、渡辺治氏の著書「戦後史のなかの安倍改憲」（新日本出版社 1,800円）を読み、その感想や疑問、意見を出し合います。300頁を超える大著ですので、2回に分けて検討します。第1回は、安倍改憲の問題点を検討する第2章と第3章を取り上げます。愛敬浩二氏（法学研究科教授）が憲法研究者の観点から解説する予定です。

※昼食の弁当(540円)を受け付けます。希望の方は、11月6日(火)までに、9jq@nuufs.org までご連絡下さい。

* 日 時 *

第1回 2018年11月8日(木)

時間 12:15~12:50

* 場 所 *

名古屋大学職員組合 会議室
(工学部2号館北館332号室)

* 解 説 * 愛敬浩二氏（法学研究科教授）



・昼食ご持参いただいても大丈夫です。
お気軽にどうぞ♪

主催：名大9条の会、名古屋大学職員組合
問い合わせ（名大職組）052-789-4913（内線4913）